

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学附属病院核医学科では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年12月
福島県立医科大学医学部附属病院核医学科 織内 昇

■ 研究課題名

核医学治療を高度化する個別線量評価法の開発

■ 研究期間

2023年12月 ～ 2026年3月

■ 研究の目的・意義

核医学治療をより有効かつ安全に実施する方法として、撮像した画像で副作用が問題となる臓器の線量を計算して、薬剤の投与量や投与間隔を決めることが提唱されています。これは科学的根拠に基づく高度化した核医学治療として、国も推進しようとしている治療法の一手法と考えられますが、現状では標準化された計算法や評価法はありません。

これまでに当院で核医学治療を受けた患者さんの医療情報（画像データ、血液検査所見、その他）を用いて、線量の計算法や評価法の開発を目的とした研究を行います。

この研究で得られた知見を関連学会で協議し、患者さんごとに個別化した線量評価法を標準化して将来同じ治療を受ける患者さんの治療に役立てる意義があります。

■ 研究対象となる方

2021年12月～2024年3月の期間に福島県立医科大学附属病院で褐色細胞腫・パラグングリオーマに対する ^{131}I -MIBG（ライアット）と神経内分泌腫瘍に対する ^{177}Lu -DOTATATE（ルタテラ）による治療を受けた患者さんが対象です。そのうちライアットによる治療では、4回の治療を完遂された方が研究対象です。

■ 研究の方法

対象となる方がライアットあるいはルタテラの治療を行った際に撮像された、それぞれ ^{131}I -MIBGと ^{177}Lu -DOTATATEの画像から、線量計算ソフトおよび新たに開発した方法を用いて腎臓と骨髄の吸収線量を算出します。算出された個別線量評価の結果を、診療録から抽出した腎機能や造血機

能など治療後の検査データと対比して線量計算法の臨床的な妥当性を検証します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024年1月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学附属病院核医学科であり、研究責任者は核医学科織内 昇です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学附属病院核医学科および保健科学部で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当しません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部附属病院 核医学科 担当：織内 昇

電話：024-581-5165 FAX：024-581-5165

e-mail：oriuchi@fmu.ac.jp